

平成 2 6 年 度

# 事 業 報 告 書

平成 2 6 年 4 月 1 日から

平成 2 7 年 3 月 3 1 日まで

(平成 2 7 年 6 月 9 日開催 第 1 回理事会)

(平成 2 7 年 6 月 2 9 日開催 定 時 総 会)

公益社団法人

山口県光・熊毛地区栽培漁業協会

平成26年度職務執行状況報告書  
(平成26年4月1日から平成27年3月31日)

I 組織の状況

1. 主な庶務事項

年 月 日	事 項	場 所
平成26年		
6. 3	光・熊毛地区栽培漁業協会 監査 天羽満則 監事	岩国市 アイ・アカウンティング税理士法人
6. 6	光・熊毛地区栽培漁業協会 監査 久樂和則 監事	田布施町 山口県漁業協同組合 田布施支店
6. 9	公益法人 第1回理事会	上関町 栽培センター 2階 研修室
6. 30	公益法人 第1回定時総会	上関町 栽培センター 2階 研修室
12. 4	公益法人 第2回理事会	上関町 栽培センター 2階 研修室
平成27年		
2. 9	ウイルス発生状況と今後の対応について 意見交換会	山口市秋穂 内海研究センター 会議室
3. 4	公益法人 第3回理事会	上関町 栽培センター 2階 研修室

## 2. 総会

区分	定時総会
開催年月日	平成26年 6月30日
開催場所	上関町 光・熊毛地区栽培漁業センター 2階 研修室
現在会員数	5
出席会員数	5 (本人出席 4名、代理出席 1名 )
議事事項	
(決議事項)	
第1号議案	平成25年度 事業報告及び決算報告承認の件
第2号議案	平成26年度 事業計画(案)及び収支予算(修正予算案)承認の件
第3号議案	平成26年度 会費について
第4号議案	平成26年度 役員報酬について
第5号議案 (報告事項)	公益法人認定について
第6号議案	その他の協議事項
可否の別	各議案とも原案どおり可決された

### 3. 会 員

区 分	前年度末現在	平成26年4月1日から平成27年3月31日まで		本年度前期末
		入会者	退会者	
正会員	12	0	0	5
(会員内訳)	漁業団体 1	市町 4	合計 5	
	・山口県漁業協同組合		・光 市	
	上関支店	光(牛島)支店	・田布施町	
	室津支店	田布施支店	・平生町	
	四代支店	平生町支店	・上関町	
	祝島支店			
注)平成26年公益法人として発足後、山口県漁業協同組合の各支店は、1団体とみなされ1会員となった。				

### 4. 役 員

(平成27年 3月31日現在)

区 分	役員数	常 勤	非常勤	備 考
会長 理事	1	0	1	
副会長理事	1	0	1	
業務執行理事	0	0	0	
理 事	4	0	4	
監 事	2	0	2	
合 計	8	0	8	

## II 事業内容

### 1. 基本方針

光・熊毛地区の「つくり育てる漁業」の拠点施設として重要水産動物の中間育成、放流等栽培漁業の推進及びこれに関連する事業を行ない、水産資源の維持拡大及び地域漁業の発展に寄与するため、県及び栽培漁業公社の指導のもと連携して事業を実施する。

また、会員の要望にも柔軟に対応し、理事会議決を経て育成魚種の追加、変更等も行う。一方、協会運営を維持安定させるため、中間育成終了後の遊休期間を利用してクルマエビ養殖を行い、販売益を公益事業費にあてる。

放流事業は、基本財産の運用益、会費、負担金、補助金等により実施しているが、運用益の減少等厳しい財政状況であり、効率化を行ないつつ事業の維持・拡充をはかる。

### 2. 事業実績

#### (1) 研修・視察・見学等の受け入れ実績（公益目的事業） （啓発活動）

栽培漁業への理解を深めるため、地域社会との繋がりを重視し、より積極的に係わる事で各種啓発活動を行う。

#### [実施内容]

- ・ 大学関係者の見学と小中学生の体験学習、見学及び研修

#### ふるさとチャレンジ活動

年月日	平成26年 5月21日～5月23日(3日間)
団体名	上関町立上関中学校 2年生 1名
場 所	光・熊毛地区栽培漁業センター
目 的	(1)ふるさとの産業を体験を通して知る事により、郷土を愛する心を育てる。 (2)職場の実際を知り、職業や勤労への意欲を高め、望ましい職業観の形成に資する。 (3)働くことの喜びと苦労を身をもって体験し、社会的なマナーを学習する。 (4)自分の将来の生き方について考える一助とする。

職場見学

年月日	平成26年 7月5日
団体名	平生町立平生中学校 2年生 15名 教諭 1名 平生町役場職員 2名 平生町漁協 2名
場 所	光・熊毛地区栽培漁業センター
目 的	栽培漁業センターを見学する事で、センターの地域漁業への係わりと栽培漁業の意味をより深く理解する。

職場見学

年月日	平成26年 8月25日
団体名	東海学園大学経営学部 大学院生 2名 教授 1名
場 所	光・熊毛地区栽培漁業センター
目 的	栽培漁業センター 見学

職場見学(光分場・光市栽培漁業センター)

年月日	平成26年 10月21日
団体名	光市立岩田小学校 5年生 19名 教諭 1名 光市役所職員 2名 ちびっこサポーター 1名
場 所	光分場(光市栽培漁業センター)
目 的	光市栽培漁業センターの仕事と栽培漁業について学習する。

職場見学

年月日	平成26年 11月27日
団体名	上関町立上関小学校 5年生 13名 教諭 1名 他 1名
場 所	光・熊毛地区栽培漁業センター
目 的	日本の水産業について学習し、栽培センターを見学することで理解を一層深め、上関町の漁業についても学ぶ。

[実施内容]

- ・ 中学校教諭の職場研修

せんせいの社会体験研修

年月日	平成26年 7月23日～7月28日(26日を除く計4日間)
団体名	上関町立上関中学校 教諭(教頭) 1名 (主催) 山口県教育委員会 公益社団法人 山口ひとつづくり財団
場 所	光・熊毛地区栽培漁業センター
目 的	生命を維持管理する仕事を行なっている事業所で、職員とともに働くことにより、職に対する責任感や誇りを感じ取り、組織としてどのように危機管理を行っているのか学ぶ。 また、地域からの期待にどのように応えているのかなど、今後の学校運営に活かす。

[実施内容]

- ・ 産学協同研究への協力

現場資料の提供

年月日	平成26年 11月17日
団体名	山口大学 大学研究機構 (株)安原設備工業
場 所	光・熊毛地区栽培漁業センター
目 的	クルマエビウイルス病の研究 ミドリゾウリムシによるウイルス捕食研究
研究機関	岩国市ミクロ生物館

- ・ 上関町文化祭

愛ランドフェア参加

年月日	平成26年 11月3日
開催場所	上関町町民グラウンド
活動内容	クルマエビ販売 地域との繋がりを図り、栽培センターでの事業内容を理解してもらう。

(2) 種苗の中間育成・放流の結果(公益目的事業)

本協会は、会員の要望に応え、重要水産動物の中間育成を行ない、放流用種苗の安定供給に努めるとともに、県、公社の指導の下、放流適地、放流効果等情報交換しながら放流事業に対応している。

表-1

種類	場所	施設	開始時		終了時		生残率 (推定)%	放流地域(支店)
			サイズ mm	尾数 千尾	サイズ mm	尾数 千尾		
クルマエビ	上関本場	育成池 5,000㎡ 1面	15.7	2,000	45~50	1,978	98.9	光 田布施 平生町
トラフグ	"	FRP 100t 4面	30~44	99	55~70	91	91.9	上関4支店
マダイ	"	小割生簀網 16面	36.3	150	62~66	139.5	93.0	光 田布施 平生町 上関4支店
ヒラメ	"	FRP 100t 2面	37~39	200	60~79	171.5	85.7	光 田布施 平生町 上関4支店
カサゴ	公社			43	54.2	34.4	80.0	上関4支店 (直接放流)
キジハタ	上関本場	FRP 100t 1面	45.6	31.4	63	25.12	111.1	光、田布施 平生町 上関4支店
	公社	直接放流(追加分)			60	9.8	100	上関4支店
アワビ	光分場	屋内FRP10t 6面	15.3	50	30.4	30.96	82.5	2月26日1部放流 上関4支店
					31	10.32	82.5	5月26日放流 上関以外3支店
マコガレイ	上関本場	下松市栽培 漁業センター			50.9	20	100	上関4支店 (直接放流)
ガザミ	公社委託	C3で受取り 直接放流	4	900	12	407.4	45.2	田布施 平生町



○中間育成業務受託事業の内容(公益目的事業)

- ・ 資源増大対策事業  
(山口県栽培漁業公社より委託 山口県補助事業)

表-2

種類	場所	施設	開始時		終了時		生残率 (推定)%	放流地域(支店)
			サイズ mm	尾数 千尾	サイズ mm	尾数 千尾		
ヒラメ	上関本場	FRP 100t 1面	39.0	100.0	71.0	80.5	80.5	光・熊毛地域7支店 地先

※ 山口県栽培漁業公社の指導の下、「遮光中間育成によるヒラメ種苗の黒化抑制試験」を行った。

- ・ 公社単独中間育成事業  
(山口県栽培漁業公社より委託 公社単独事業)

表-3

種類	場所	施設	開始時		終了時		生残率 (推定)%	放流地域(支店)
			サイズ mm	尾数 千尾	サイズ mm	尾数 千尾		
マダイ	上関本場	海上小割網 16面	36.3	150.0	62.4	139.5	93.0	光・熊毛地域7支店 地先 (一部現場放流)

- ・ 上関町放流事業

ヒラメ 6.00万尾  
カサゴ 4.30万尾  
キジハタ 1.13万尾  
0.98万尾(追加放流)

アワビ 2.50万個

- ・ 平生町・平生町支店放流事業

ヒラメ 1.00万尾  
ガザミ 12.00万尾  
クルマエビ 19.70万尾

### (3) クルマエビ養殖事業の結果(収益目的事業)

受け入れ、放流、育成等順調に経過したが、移放後、異常斃死が発生、水産研究センター内海研究部において検査の結果、急性ウイルス血症(PAV)と診断された。  
 その後も養殖を継続し、ウイルス病は終息したが生産量は目標値の1/4となり、事業収益は約1,330万円となった。

池別養殖結果  
表-4

	生産量(kg)	平均体重(g)	生残率(%)
北池(元池)	710.0	34.0	23.0
南池(移放池)	355.0	32.0	13.2
合計	1065.0		

### (4) 施設の維持・管理業務

本協会の基本方針である栽培漁業の拠点施設として栽培漁業を推進し、地域水産業の発展に寄与するため、管理施設の効率的な活用と保全を行なっている。

- ・ 光・熊毛地区栽培漁業センター(上関本場)  
施設、備品については、県と協会において施設の管理委託契約を結び保全に努める。
- ・ 光市栽培漁業センター(光分場)  
光市と管理委託契約の更新により運営する事とし、必要に応じて施設の点検整備を行い、保全に努める。

維持管理業務の内容  
表-5

施設名	工事名	工事内容	施工時期
光・熊毛地区栽培漁業センター	栽培漁業センター 浮棧橋チェーン取替工事	浮棧橋固定用チェーンが劣化し、固定が困難に成ったため、交換	平成26年 5月8日
光・熊毛地区栽培漁業センター	栽培漁業センター 浮棧橋潜水調査	浮棧橋固定用チェーン劣化調査	平成26年 12月26日
光・熊毛地区栽培漁業センター	栽培漁業センター 浮棧橋チェーン取替工事	浮棧橋固定用チェーンが破断、劣化し、固定が困難に成ったため破断、劣化部分を交換	平成27年 3月24・25日

(5) 管理内容

1. 業務執行体制の整備と強化

- 1) 定款及び内部規程に基づき、適正かつ効率的な業務運営に努める。
- 2) 県及び栽培漁業公社等の研修に積極的に参加し職員の資質向上に努める。

2. 公益法人の運営等に関する情報公開

- 1) 定款に基づき、情報開示の対象となる書類については情報開示を行なう。
- 2) 情報開示の手段であるホームページについては、次年度末までの早い時期に開設し、情報公開の手段とする。